

2026 年度の全国大会は、高崎市の G メッセ群馬（群馬コンベンションセンター）を現地会場としてオンラインを併用したハイブリッド開催を計画しています。一般発表（口頭・ポスター）セッション、国際セッション、オーガナイズドセッションを企画しています。本大会では、対面での参加者間のインタラクションを促進するため、ポスターによる発表を奨励します。投稿の際にはセッションの希望をお伺いしますが、発表区分はプログラム編成上の制約、プログラム委員会の判断などによって最終的に決定します。あらかじめご了承ください。

日 程：2026 年 6 月 8 日（月）～6 月 12 日（金）

会 場：G メッセ群馬（群馬県高崎市）、オンライン

全国大会ホームページ <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2026/>

発表申込ならびに論文投稿は、大会ホームページ内に掲載した投稿サイト（Confit）からお願いします。

上記サイトで投稿を始める際に、本学会会員は最初に会員認証をお願いします。ダッシュボードの「会員認証・登録はどちらから」で開くダイアログで「会員認証へ進む」を選んでください。非会員で本学会に入会される方もその画面から入会申請をしていただけます。非会員は、上記ダイアログで「会員認証せずに登録する」を選んでください。なお、事後、参加登録時に改めて入会申請をしていただければ、会員価格の参加費・発表費が適用されます。発表申込や論文投稿は非会員としてを行い、参加登録までに入会手続きを完了して上記サイトで改めて会員認証していただいても構いません。

◆発表申込（以下の全国大会ホームページ経由の申し込みのみとなります）

●申込方法：全国大会ホームページ <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2026/> をご参照ください。

●発表申込・アブストラクト登録期間：2025 年 12 月 23 日（火）～2026 年 1 月 28 日（水）午後 2 時 JST 嶣守

●原稿締切：

一般（口頭・ポスター）発表、オーガナイズドセッション、国際セッション
2026 年 2 月 18 日（水）午後 2 時 JST 嶣守

●論文の要件：論文該当分野に示される人工知能およびその関連分野の学術論文、事例報告。言語は日本語または英語とし、国際セッションは英語のみとします。なお、発表形態の選択に際しては、後述する「◆投稿区分について」「◆発表方法について」「◆表彰について」などをご参照ください。

●発表申込件数の制限：発表申込件数は 1 人最大 1 件とします。同一発表者による発表は一般（口頭・ポスター）、オーガナイズド、国際のいずれか一つとしてください。

●論文集原稿：全国大会ホームページで指定した形式に従った PDF ファイル（2～4 ページ：日本語約 4000～8000 語、約 1000～2000 words 相当、国際セッションは 1～8 ページで英語 500～4000 words 相当）をアップロードしていただきます。

●論文の採択：論文の採択はプログラム委員会において決定します。採否の結果は 2026 年 3 月 18 日（水）に通知する予定です。なお、不採択理由の問合せには原則として応じられません。

※ 採択通知後の申込内容の変更是原則認められませんのでご注意ください。

※ 採択通知後に発表を取り消された場合も発表費はお支払いいただきます。

●論文の事前閲覧：大会に先立ち、採択された全論文の PDF ファイルを 2026 年 5 月 22 日（金）以降に Web で公開します。例外的な個別対応は一切お受けできませんので、特許出願などの権利確保面ではこの日程にご留意ください。

◆参加費・発表費

参加費（発表者、聴講者共通）、および、発表費は以下の表のとおりです。非会員の方は、この機会にご入会されることを強くお勧めします。人工知能学会への入会手続きは、<https://www.ai-gakkai.or.jp/membership/> を参照ください。参加費は早期事前登録・支払いを安く設定しております。また、直前や当日の受付は手続きに時間要することが予想されますので、事前登録・お支払いをお勧めします。

単位：円

			会員（不課税）			非会員（税込み）	
			正会員	学生会員	賛助会員 ^{*2}	一般	学生
参加費	事前登録	早期（2026年3月2日（月）～4月24日（金）18:00）	12,000	5,000	12,000	24,200	8,800
		後期（～5月21日（木）18:00）	14,000	7,000	14,000	26,400	11,000
	直前&当日受付		18,000	9,000	18,000	30,800	13,200
発表費 ^{*1}			3,000	3,000		4,400	4,400

			連携学会会員（税込み） ^{*3}	
			正会員	学生会員
参加費	事前登録	早期（2026年3月2日（月）～4月24日（金）18:00）	13,200	5,500
		後期（～5月21日（木）18:00）	15,400	7,700
	直前&当日受付		19,800	9,900
発表費 ^{*1}			3,300	3,300

*1：発表参加者は、2026年4月24日（金）までに参加登録とともに参加費・発表費のお支払いをお願いします。参加登録なればに入金が4月中に事務局で確認できない場合、発表取消しとなる可能性がありますので、ご注意ください。

*2：賛助会員の聴講参加につきましては、会員口数1口当たり5名までを正会員価格とさせていただきます。なお、聴講参加のみへの適用ですので、発表申し込みをされる場合は、個人の会員資格（正会員または非会員・一般）でお申し込みください。

*3：国際化に伴いTAAIを含む連携学会の会員につきましては、事前参加登録（早期・後期）に限り、税抜き価格では正会員価格・学生会員価格と同額とさせていただきます。当日受付については、どちらも非会員価格となりますので、ご注意ください。

◆投稿区分について

●区分1：一般（口頭・ポスター）セッション

論文該当分野に示される人工知能およびその関連分野の学術論文、事例報告に関する通常の発表です。発表申し込み時に、論文該当分野を選択し、さらに論文内容を表すキーワードを指定してください。後述の論文該当分野のJ-1～J-11が該当します。著者情報の下の概要（Abstract）に①目的と②結果の概要あるいは結論を含めてください。必要に応じ方法を記載してください。概要に①②の記述のない投稿および論文のフォーマットに従わない投稿は不採択となることがあります。

●区分2：オーガナイズドセッション

本大会では「萌芽的な研究テーマや学際的課題など、一般セッションには収まらないテーマについて深い議論を行う」ことを目的としたオーガナイズドセッション（OS）を設けています。どのようなテーマでOSを開催するかについては、企画提案を受け付けます^{*4}。大会委員会にて本学会の目的との合致性、実現可能性などの観点で審査した後、採択OSテーマを公開し、発表の一般公募を行います。同一グループ（企業、研究室など）だからの発表で多様性に乏しい場合など、不採択になることがありますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。OSでの発表を希望される方は、発表申し込み時に（採択されたOSリストの中から）ご希望のOS名を選択し、さらに論文内容を表すキーワードを指定してください。なお、OSを希望された場合であっても、希望OSでの発表件数が多いときや、発表がそのOSの主旨にそぐわないときは、一般（口頭・ポスター）セッションにまわっていただくことがあります。

過去に3年以上実施されたOSにつきましては、実施した最終年度に2セッション以上開催していることを企画提案の提出条件とします。また、原則として複数のOSの融合は行わず、似たOSの提案があった場合にはそのうちの一つが採択されます。また、論文募集の結果、OSの実施が中止されることがあります。開催時は、オーガナイザには座長を務めていただきます。

*4 :

OSの企画提案の詳細は、以下のページに掲載しています。

<https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2026/cfos>

応募の締切は2025年11月14日（金）

採択されたOSのリストの公開（発表の一般公募）は2025年12月中旬頃に大会ホームページにて公開予定です。

参考：前回2025年度のOSのテーマは以下のページに掲載しています。

<https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2025/os>

●区分3：国際セッション1（Work-in-progress）

論文該当分野に示される人工知能およびその関連分野の学術論文、事例報告に関する英語論文および英語による発表です。Work-in-progress カテゴリは、新しいアイディアやまだ探索段階にある研究を発表し、フィードバックを得て、議論する機会を提供します。このカテゴリの論文は Extended Abstract（全国大会ホームページで指定した形式に従った PDF ファイル 1~2 ページ）を作成してください。発表申し込み時に、論文該当分野を選択し、さらに論文内容を表すキーワードを指定してください。後述の論文該当分野の E-1~E-5 が該当します。著者情報の下の概要（Abstract）に①目的と②結果あるいは結論の概要を含めてください。概要には、必要に応じ方法の要点も記載してください。概要に①②の記述のない投稿や、論文のフォーマットに従わない投稿は不採択となることがあります。

●区分4：国際セッション2（Regular）

論文該当分野に示される人工知能およびその関連分野の学術論文、事例報告に関する英語論文および英語による発表です。Regular カテゴリは、未発表の研究成果を発表する機会を提供します。このカテゴリでは全国大会ホームページで指定した形式に従った PDF ファイル 2~8 ページの論文を作成してください。発表申し込み時に、論文該当分野を選択し、さらに論文内容を表すキーワードを指定してください。後述の論文該当分野の E-1~E-5 が該当します。著者情報の下の概要（Abstract）に①目的と②結果あるいは結論の概要を含めてください。概要には、必要に応じ方法の要点も記載してください。概要に①②の記述のない投稿や、論文のフォーマットに従わない投稿は不採択となることがあります。また、Regular カテゴリへ投稿された論文のうち、特に本大会と関連が深く、優秀とみなされた論文は、その拡張版の New Generation Computing 誌の特集号への投稿を推奨する予定です。

◆発表方法について

研究内容に適した発表方法を選択し、研究成果をアピールしてください。発表申込み時には「口頭発表とポスター発表のどちらでも良い」（一般セッションのみ）、「ポスター発表」（一般セッションのみ）、「口頭発表（現地）」、「口頭発表（オンライン）」の四つから選択できますが、内容によっては希望以外の発表方法に回っていただくことがあります。全国大会ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。対面での参加者間のインタラクションを促進するため、一般セッションではポスター発表を推奨しております。

◆表彰について

全国大会では大会奨励賞と学生奨励賞の二賞を設け、発表の中から特に優秀なものを複数件、大会委員会での審査によって選出し、学会誌上において表彰します。なお、大会優秀賞は原則本学会会員を筆頭著者とする発表について筆頭著者と研究発表が連名の場合は本学会会員の連名者全員を表彰し、学生奨励賞は本学会会員非会員を問わず、筆頭著者のみを表彰します。いずれの賞も招待講演や論文提出のない発表は対象外とします。

●大会優秀賞

<一般セッション口頭発表部門> <国際セッション口頭発表部門>

一般セッション、国際セッションの口頭発表（オンライン発表を含む）の中から、論文としての新規性・有用性において特に優れた発表を大会優秀賞<一般セッション口頭発表部門><国際セッション口頭発表部門>として選出します。

<ポスター発表部門>

ポスター発表については、参加者の投票結果も考慮し、発表のわかりやすさ・インパクト、今後の発展性において特に優れた発表を大会優秀賞<一般セッションポスター発表部門>として選出します。

<オーガナイズドセッション口頭発表部門>

オーガナイズドセッションの口頭発表（オンライン発表を含む）の中から、論文としての新規性・有用性において特に優れた発表を大会優秀賞<オーガナイズドセッション口頭発表部門>として選出します。ただし、選出にあたっては、オーガナイズドセッションのテーマとの関連性や、「萌芽的な研究テーマや学際的課題など、一般セッションには収まらないテーマについて深い議論を行う」というオーガナイズドセッションの目的に照らした評価も加味します。

●学生奨励賞

大会優秀賞と同様の対象範囲、同様の審査基準のもと、学生による発表の中で特に優秀と認められた発表を学生奨励賞として選出します。ただし、大会優秀賞に選ばれたものは学生奨励賞の対象外となります。

◆企画セッション

今年も例年と同じく企画セッション、学生企画セッションを開催します。申し込み方法を含め、詳細は全国大会ホームページで随時お知らせしていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

問合せ先：〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402

2026年度人工知能学会全国大会事務局

jsai2026@ai-gakkai.or.jp Tel. 03-5261-3401

<< 一般（口頭・ポスター）セッション論文該当分野：上記の区分1に相当 >>

J-1. 基礎・理論

エキスパートシステム、オペレーションズリサーチ（例：数理計画法、数理最適化など）、グラフ理論、計算論的神経科学・脳科学、シンボルグラウンディング、スケジューリング、制約充足問題・充足可能性問題（CSP/SAT）、探索・論理・推論アルゴリズム、認知科学（例：認知心理学、認知神経科学、認識論など）、認知アーキテクチャ、汎用人工知能、ヒューリスティクス、ファジィ論理、プランニング、プロダクションシステム、ベイズ推定、包摂アーキテクチャ、ルールベースシステム、その他

J-2. 機械学習

異常検知、遺伝的アルゴリズム、概念学習、強化学習、クラスタリング、計算論的学習理論、情報論的学習理論、進化計算、深層学習、スペースコーディング、敵対的学习、転移学習、統計的学習、ニューラルネットワーク、パターン認識、半教師あり学習、表現学習（エンベディング）、その他

J-3. 知識の利用と共有

オントロジー、知識獲得・発見、知識共有・管理、知識表現、知識グラフ、知識ベース、データマイニング、その他

J-4. Webインテリジェンス

Webインターフェクション、Webマイニング、クラウドソーシング・ヒューマンコンピュテーション、集合知、セマンティックWeb、情報検索、情報推薦、ソーシャルメディア、その他

J-5. エージェント

意思決定・合意形成、オーケション、群知能、ゲーム理論、シミュレーション、分散協調、マーケットデザイン、マルチエージェント、その他

J-6. 言語メディア処理

意味理解、オノマトペ、会話・談話・意図理解、機械翻訳、対話処理・対話システム、テキストマイニング、非タスク指向対話（例：雑談、チャットボットなど）、要約、その他

J-7. 画像音声メディア処理

一般物体認識, 音声認識, 音声生成, 画像認識, 画像生成, コンピュータビジョン, ジェスチャー認識, 動画像処理, マルチモーダル処理, その他

J-8. ロボットと実世界

記号創発ロボティクス, サイバーフィジカルシステム, 身体性, 知能メカトロニクス, 知能ロボット, 知能ロボティクス, 認知ロボティクス, ヒューマンロボットインタラクション, その他

J-9. ヒューマンインターフェース

アフオーダンス, ヴァーチャルリアリティ (VR) (AR, MRなどを含む), 感性 (例: 感性工学, 触覚・味覚・嗅覚認識, 質感など), 行動推定, 行動変容, 仕掛け学, 情報可視化, スキルサイエンス, 知的ユーザインターフェース, ヒューマンエージェントインターラクション, ヒューマンコンピュータインターラクション, マルチモーダルインターラクション, その他

J-10. AI 応用

AI ライフサイクル, 計算社会科学, 行動経済学, データサイエンス, バイオインフォマティクス, マテリアルズインフォマティクス, 医療・ケア応用 (例: 診断, ゲノム医療, 看護, 介護, 障がい者支援など), 学術応用 (例: 生物学, 歴史学, 考古学など), 教育応用 (例: 知的教育システム, 教育支援など), 芸術・エンタテインメント応用 (例: 創作, 作品の生成・評価・鑑賞, 絵画, 音楽, コミック, ゲーム, スポーツなど), 産業応用 (例: 農業, 渔業, 林業, 製造, 建設, 不動産, 金融, 投資, 保険, 小売, 通信, メディア, 広告, ファッション, 食など), 社会インフラ応用 (例: 交通, 物流, 自動運転, エネルギー, 水道など), 社会課題応用 (例: 法律, 政治, 都市・地域課題, 合意形成支援, シビックテック, グリーンAIなど), マネジメント応用 (例: 経営, 人事, 組織など), その他

J-11. AI と社会

Well-being Computing, AI 公平性, AI 信頼性 (AI の評価・検証などを含む), AI 説明可能性, AI 倫理, プライバシー (例: プライバシー保護データマイニング, プライバシーに配慮したデータ利活用など), その他

<< 国際セッション論文該当分野: 上記の区分 3, 4 に相当 >>

E-1. Knowledge engineering

Logics, inference, knowledge representation, knowledge use/reuse, knowledge sharing, knowledge base, ontology, expert systems, knowledge management, data engineering, knowledge graph, linked data.

E-2. Machine learning

Classification, clustering, reinforcement learning, regression, attribute selection, knowledge acquisition, graphical models, causality analysis, deep learning, etc.

E-3. Agents

Human agent interaction, agent design, mechanism design, multi-agent systems, autonomous agents, cooperative problem solving, automated negotiations, agent-based simulation, auction, cloud computing, collective intelligence, human computation and crowdsourcing, social signal processing, etc.

E-4. Robots and real worlds

Intelligent robots, knowledge processing of robots, human-robot interaction, environment recognition, position estimation, sensor network, robotics and automation, symbol emergence in robotics, etc.

E-5. Human interface, education aid

Intelligent interface, human-computer interaction, virtual/augmented reality, intelligent learning aid, e-learning, learning analytics and educational data mining, user/learner modeling, communication aid, design aid, Shikakeology, etc.

Call for Registrations and Papers for International Sessions

We receive and review papers in artificial intelligence and related fields, and papers on case reports. Papers should be written in English, and presentations should be held in English.

Method of application: Please refer to the conference website <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2026/>.

At the time of submission, please select the session of presentation (Work-in-progress session or Regular session) and the relevant category of topics below, and further specify the keyword that shows the contents of the paper. Select one to five of the applicable categories and keywords from the list. Please include (1) the objective and (2) the outline of your conclusions of results in the abstract under the author information. Also, please state the outline of your method as necessary in the abstract. Submissions without any description about (1) or (2) in the abstract may not be considered for presentation or publication.

Note that the Work-in-progress session provides an opportunity to present, get feedback and discuss new ideas and research that is still in the exploration phase. A paper in this category must be an Extended Abstract (a 1 to 2 pages PDF file that follows the format specified on the national conference website). The Regular session provides an opportunity to present unpublished research findings. Also, regular session papers that match the general requirements of relevance and scientific and technological excellence are encouraged to be submitted to the Journal of New Generation Computing.

Period of application: Tuesday, December 23rd, 2025 to Wednesday, January 28th, 2026 Punctuality at 2 pm JST

Submission deadline of papers: Wednesday, February 18th, 2026 Punctuality at 2 pm JST

Requirement of the submission: The papers and case reports of artificial intelligence and its related fields shown in the relevant field. The acceptable language for the international session is English only.

Restriction on the number of applications: An applicant can submit and make at most one presentation at the conference. One cannot apply a general (oral/poster) session and an international session by the same presenter.

Paper manuscript: Upload a PDF file (1 to 2 pages for Work-in-progress category paper, 2 to 8 pages for Regular category paper) according to the format specified on the annual conference website.

Notification: The acceptance/rejection shall be notified by Wednesday, March 18th, 2026, after the review on the criteria of the importance and the relevance to the conference, novelty, technical quality, and clarity of the article. After the notification, any change to any part of the content cannot be accepted. Note: An applicant who is the author of an accepted submission must pay the fee in case of withdrawal after acceptance.

Policy of awards and publication: Particularly excellent Regular category papers are planned for selection and recommendation to the Journal of New Generation Computing. If the paper selected for the award is multi-authored and the first author is a member of JSAI, we will honor all the authors of the JSAI membership as to the paper.

Presentation: Questions can be asked directly to the presenter during the live session. The live session will consist of presentations (live presentation or video) and Q&A. The live sessions will be recorded and made available to the public for a limited time.

Categories of Topics for International Sessions:

E-1. Knowledge engineering

Logics, inference, knowledge representation, knowledge use/reuse, knowledge sharing, knowledge base, ontology, expert systems, knowledge management, data engineering, knowledge graph, linked data.

E-2. Machine learning

Classification, clustering, reinforcement learning, regression, attribute selection, knowledge acquisition, graphical models, causality analysis, deep learning, etc.

E-3. Agents

Human agent interaction, agent design, mechanism design, multi-agent systems, autonomous agents, cooperative problem solving, automated negotiations, agent-based simulation, auction, cloud computing, collective intelligence, human computation and crowdsourcing, social signal processing, etc.

E-4. Robots and real worlds

Intelligent robots, knowledge processing of robots, human-robot interaction, environment recognition, position estimation, sensor network, robotics and automation, symbol emergence in robotics, etc.

E-5. Human interface, education aid

Intelligent interface, human-computer interaction, virtual/augmented reality, intelligent learning aid, e-learning, learning analytics and educational data mining, user/learner modeling, communication aid, design aid, Shikakeology, etc.

推薦のお願い

2025 年度 論文賞

◆論文賞 2025 年度論文賞受賞論文選定のため、論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、下記のとおり候補論文の推薦投票を行います。多数のご推薦をお願いいたします。

表彰：対象論文のなかから特に優秀なものを論文賞受賞論文として選定し、その著者に対し、表彰盾を贈呈。

選定手続：正会員による推薦論文を対象に、選定委員会で候補論文を選定し、理事会で受賞論文を決定。

対象論文：人工知能学会論文誌 第40巻に掲載された原著論文、萌芽論文、速報論文。

推薦方法：対象論文の中から優れたもの1編を選び、必要事項をご記入のうえ、事務局にお送りください。

送付先：editor@ai-gakkai.or.jp

締切：2025年12月25日（木）必着

<記述内容> ・推薦論文題目 ・著者名 ・掲載巻号 (Vol.40, No.) ・推薦理由 (100字程度) ・推薦者氏名

Google Formからのご推薦も承ります。アクセス先など詳細は本学会ホームページ、メーリングリストでご案内いたします。

教員・人材募集

▶ 福岡工業大学 工学部 電子情報工学科 教員公募

募集人員 准教授または助教 1 名

専門分野 電子情報工学に応用可能な AI・データサイエンス関連分野

担当科目 電子情報工学入門、人工知能基礎と演習、電子情報実験、卒業研究など（将来開講予定の AI・データサイエンス関連科目を担当）

応募資格 専門分野における研究業績があり、以下の項目に該当する方。

- ①博士の学位を有する方、もしくは着任時までに取得見込みの方。②大学院での教育を担当可能な方。
③私立大学における教育に熱意のある方。④教育経験のある方が望ましい。

着任時期 2026 年 4 月 1 日（原則）

応募締切 2025 年 11 月 21 日（金）23 時 59 分までに本学指定方法にて応募書類一式を送付（公募詳細を参照）

問合先 福岡工業大学 工学部 電子情報工学科 学科長 松井 義弘

E-mail: matsui@fit.ac.jp Tel : 092-606-3736 (学科事務室)

公募詳細 詳細内容は本学の公募情報および JREC-IN のサイトをご参照ください。

https://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/kyoin_denshi_20250918

<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125091040>

学術研究集会のお知らせ

共催・協賛・後援

<協賛>

SICE セミナー「モデル予測制御～最適制御の基礎から応用事例・ソフトウェアツールまで～」2025

主 催：計測自動制御学会 制御部門

会 期：2025 年 11 月 18 日（火）

会 場：オンライン

<https://www.sice-control.jp/jp/wiki/wiki.cgi/c/seminar?page=mpc2025>

連絡先：制御部門・川喜田 (Email: bumen@sice.or.jp)

システム制御情報学会セミナー2025 「脳科学の現状と今後の展望」

主 催：システム制御情報学会

会 期：2025 年 11 月 21 日（金）

会 場：オンライン

<https://www.iscie.or.jp/event/seminar>

連絡先：事務局・高田 (Email: office@iscie.or.jp)

IDR ユーザフォーラム 2025

主 催：国立情報学研究所

会 期：2025 年 11 月 26 日（水）

会 場：一橋講堂 中会議場

内 容：主催者挨拶、IDR 活動報告、ポスターセッション（データ利用者による研究事例発表）、データ提供者セッション、スタートアップセッション（データ利用者による研究アイディア発表）、招待講演（東京大学・相澤清晴教授）、口頭発表セッション（前年度受賞者 2 名による講演）、クロージング、表彰式

第 24 回 ロボット聴覚オープンソースソフトウェア HARK 講習会

主 催：東京科学大学 工学院システム制御系 中臺研究室／（一社）人工知能学会 AI チャレンジ研究会／（株）ホンダ・リサーチ・インスティチュート・ジャパン／科学研究費補助金基盤研究（C）「生成モデルによる豊かな形質表現に基づく社会エージェントベース進化モデル」／科学研究費補助金基盤研究（C）「人工汎用知能（AGI）ユースケースへの法人格付与における EU AI 法の投げかける課題」／科学研究費補助金基盤研究（C）「移動ロボットの駆動音を利用した周辺環境認識」／科学研究費補助金若手研究「ドローン聴覚による実時間被災者探査実現に向けた地表の三次元空間音響センシング」／早稲田大学 次世代ロボット研究機構
会 期：2025 年 12 月 2 日（火）
会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス（人工知能学会合同研究会 2025 併催）
<https://www.hark.jp/event24/>
連絡先：HARK 事務局・竹尾（Email: hark-office@ra.sc.e.titech.ac.jp）

2025 TRON Symposium (TRONSHOW)

主 催：トロンフォーラム

会 期：2025 年 12 月 10 日（水）～12 日（金）

会 場：渋谷パルコ DG ビル 18F カンファレンスホール
<https://www.tronshow.org/>

連絡先：トロンフォーラム事務局（Email: office@tron.org）

第 38 回「自律分散システム・シンポジウム」

主 催：計測自動制御学会 システム・情報部門

会 期：2026 年 2 月 18 日（水）～19 日（木）

会 場：静岡大学 浜松キャンパス

<https://sites.google.com/sice-das.org/das38th/>

連絡先：静岡大学・小林 祐一（Email: kobayashi.yuichi@shizuoka.ac.jp）

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2026 in Fukuoka

主 催：日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門
会 期：2026 年 6 月 28 日（日）～7 月 1 日（水）
会 場：福岡国際会議場

<https://robomech.org/2026/>

＜後援＞

日本学術会議公開シンポジウム『AI 時代における統計科学・データサイエンスの役割と挑戦 ---公平性、信頼性、解釈可能性、AI ガバナンスの観点から』

主 催：日本学術会議数理科学委員会

会 期：2026 年 2 月 17 日（火）

会 場：日本学術会議講堂

内 容：開会挨拶、機械学習における信頼性（名古屋大学・竹内一郎）、AI ガバナンス、説明性、公平性（理化学研究所・荒井ひろみ）、新カリキュラムにおける統計教育（日本学術会議連携会員・椿広計）、パネルディスカッション、総合討論、閉会挨拶

学会だより

◇ 第 419 回 理事会報告

日 時 2025 年 8 月 26 日（火）

場 所 慶應義塾大学 三田 東館 6F G-Lab,
Zoomオンライン

出席者 栗原聰会長、本村陽一副会長、小野智弘副会長

理 事：荒井、板井、市瀬、岩崎、大西、大向、岡、刑部、岸本、清田、倉島、黒川、小塚、小町、坂地、櫻井、清水、佐藤、高野、竹内、谷口、鳥海、中野、三宅、森永、山田、吉田、渡邊

監 事：立堀道昭、森田千絵

（出席者：理事 31 名、監事 2 名

<定足数：理事 20 名、監事 1 名 >）

＜議 題 ＞

- ・前回理事会議事録の承認
- ・会員動向報告
- ・編集委員会
- ・NGC 委員会
- ・全国大会委員会
- ・事業化準備 TF
- ・産業界連携委員会
- ・ジュニア委員会
- ・研究会運営委員会
- ・企画委員会（国際化）
- ・企画委員会（セミナー）
- ・多様性・包摂推進委員会
- ・情報基盤委員会
- ・総務委員会
- ・その他

◇ 第 420 回 理事会報告

日 時 2025 年 9 月 24 日 (水)

場 所 慶應義塾大学 日吉協生館2FAICラウンジ,
Zoomオンライン

出席者 栗原聰会長, 本村陽一副会長, 小野智弘副会長
理 事 : 荒井, 板井, 市瀬, 岩崎, 江渡, 大澤,
大向, 木村, 清田, 倉島, 黒川, 小町,
坂地, 清水, 高野, 竹内, 谷口, 鳥海,
中臺, 中野, 土方, 吉田, 渡邊
監 事 : 立堀道昭, 森田千絵

(出席者 : 理事 26 名, 監事 2 名
< 定足数 : 理事 20 名, 監事 1 名 >)

<議 題 >

- ・前回理事会議事録の承認
- ・会員動向報告
- ・全国大会委員会
- ・事業化準備 TF
- ・研究会運営委員会
- ・AI マップ委員会
- ・ジュニア委員会
- ・企画委員会 (セミナー)
- ・総務委員会
- ・その他

新規入会 (会員番号, 敬称略)

2025 年 8 月から 9 月までに理事会で承認された新規入会の方々は次のとおりです.

◇ 正 会 員

柏村慶基((株)ニコン), 植木祥高(東京理科大学), 天野悠((株)アクティヴィアーチ・コンサルティング), 薄井宏行(千葉工業大学), 石井大智(防衛イノベーション科学技術研究所), 蔭田優太, 富田郁哉(アビームコンサルティング(株)), 岡田遼嗣, 大濱吉紘((株)豊田中央研究所), 村松沙那恵, 正木晶子(NTT(株)), 天野博史, 松本拓也(パナソニックインダストリー(株)), 石原潤一, 桂樹哲雄, 米丸淳一((国研)農業・食品産業技術総合研究機構), 松岡大祐(海洋研究開発機構), 岡田光弘, 小野弓絵(明治大学), 尹英杰(トヨタテクニカルディベロップメント(株)), 山本篤, 小池湧大, 片桐章彦, 伊藤修(本田技研工業(株)), 池田篤史(筑波大学), 林和弘(文部科学省科学技術・学術政策研究所), KIM Wonjik(産業技術総合研究所), 伝住周平(関西大学), 藤崎樹(筑波大学), 古賀智久(福岡大学), 羽生田栄一((株)豆蔵), 小林稔(和光大学), 平林祐太(古野電気(株)), 中林実輝絵(新潟大学), Masahiro Takamura(藤田医科大学), 松村直也((株)アイシン), 阿部修士(京都大学), 岸田若葉((株)野村総合研究所), 岡林哲夫, 島田敬士(九州大学), 公江仁一, 谷口隆晴(神戸大学), 飯田啄巳((株)LayerX), 鈴木由宇((株)IHI), 一之瀬真志(明治大学), 泉谷知範, 木村大地(NTTドコモビジネス(株)), 松岡達也, 竹村慧(日本電気(株)), 川島貴大((株)ZOZO NEXT), 丹羽彩奈, 金子正弘(MBZUAI), 小川貴弘, 長谷山美紀(北海道大学), 吉村壯平, 脇啓太(国立循環器病研究センター), 森下貴允((株)日本ウィルテックソリューション), 齋藤英治, 横井直人, 宮西大樹, 小井土大(東京大学)持田信治(流通科学大学), 武石幸之助(x3d(株)), Gaku Morio, 永塚光一((株)日立製作所), 峯島宏次(慶應義塾大学), 杉村安都武(三重県農業研究所), 木原直也((株)コナミデジタルエンタテインメント), 渡邊孔太, Hiroshi Kera(千葉大学), 池本隼也(大阪大学), 大葉大輔, 門松怜史(東京科学大学), 許家瑠(京都平安女学院大学), 大岸寛之, 伊原涼平((株)神戸製鋼所), 望月仁志((株)アルパック), 西村真治((株)エスユーワーク), 松下裕貴(京都桂病院), 田島達太郎(塩野義製薬(株)), 小坂哲夫(山形大学), 遠山美帆(日本車輪製造(株)), 加納智之(ZYX Corp(株)), 石本修一(日本ケミコン(株)), 松本健((株)ディー・エヌ・エー), 宮坂政紀(東京慈恵会医科大学), 菊池航矢((株)YDK テクノロジーズ), 吉村浩明(早稲田大学), 江田毅晴(NTT ソフトウェアイノベーションセンタ), 伊藤諒(カナデビア(株)), 高良武幸(ブリッジワーズ(株)), 春山純志(青山学院大学), 島田悟志((株)SHIFT), 三木良雄

(工学院大学), 井上紀彦(昭和医科大学), 大山智子(TY 税理士法人), 梅田玲祐((株)デンソーテン), 友成光((株)日立製作所), 加藤恵梨(愛知教育大学), 伊藤珠野(医療法人久生病院), 田村哲士(同)ノイリヒト), 福良篤司((株)プロテリアル), 柳鳴(プラザー工業(株)), 清水雅人(横浜南共済病院), 王偉康(所属なし)

◇ 学 生 会 員

横地智宏, 安東里沙子(慶應義塾大学), 村上綾菜(お茶の水女子大学), 伊藤健(奈良先端科学技術大学院大学), 細川泰智(青山学院大学), 柳平大樹, 田村零王, 神楽坂やちま(東京大学), 赤松祐治(上智大学), 堀之内逸人(兵庫県立大学), 原田ツバサ, 大井聖也, 塩谷泰平(東京科学大学), Nawara Mahmood Broti(明治大学), 神原浩之(岐阜大学), 古澤淳(京都芸術大学), 川村徹(札幌市立大学), 佐々木斗海(早稲田大学), 鎌田理久(北海道大学), 阿南晏樹(神戸大学), Taosheng Qiu(国立情報学研究所), 荒川駿(千葉大学), 梅基陸平(名古屋大学), 寺尾光一郎(岡山県立大学), 上原慧大(横浜国立大学), 小川昂(公立はこだて未来大学)秋本一樹(鹿児島大学), Minh Nguyen, Khang Le(北陸先端科学技術大学院大学), Ravikumar Shah(NIT, Surat), 中谷友香(東洋大学), 甘利実乃(東京外国语大学), 小林潤也(群馬大学)

◇ ユース会員

王一霖(開成中学校), 平松花梨(豊島岡女子学園高等学校), 渡壁あおい(岡崎北高等学校), 松田裕子(大妻女子大学), 大竹優輝(神戸大学附属中等教育学校), 岩波理咲(松本県ヶ丘高等学校), 野村大暉, 田中万理佳(櫻谷中学校), 河内結菜(御南中学校), Horie 佐和(多摩美術大学), 山本悠人(芝浦工业大学柏高等学校), 伊藤駿(上杉山中学校), 中ノ瀬蓮人(灘高等学校), 山下禪璃(高槻高等学校), 羽田幸志朗(北海学園大学), 藤原和令, 竹内葵(関西大学高等部), 斎藤雅(N 高等学校)

◇ ジュニア会員

田中瑛人(狩場台小学校), 青柳美咲(根岸小学校), 内堀想大(三本柳小学校), 大橋穂乃香(草津小学校), 山田直輝(市谷小学校), 伊田悠真(沢池小学校), 伊田愛梨(所属なし), 西田明莉亞(東小学校)